ver.1.0　2026 年 10 月 6 日作成

新潟県立がんセンター新潟病院　オプトアウト書式

①研究課題名	骨転移患者における重複癌の頻度と臨床的特徴に関する研究
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
2016 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日の間に，新潟県立がんセンター新潟病院 骨軟部腫瘍・整形外科で骨転移の診療を受けられた患者さんのうち，複数のがん（重複癌）の診断を受けた方を対象とします。	
③概要	
当院では，がんの骨への転移（骨転移）で骨軟部腫瘍・整形外科を受診された患者さんの診療を行っています。この研究では，過去の診療記録をもとに，骨転移を診断された患者さんのうち複数のがんの診断歴がある方について，骨転移がどのがんに由来するかをどのように推定し，その後の病理検査（組織の検査）でどの程度一致したか，また診断までの期間や経過を調べます。 この研究では，患者さんに新たにお願いする検査や受診はなく，通常の診療で記録された情報のみを使用します。ご自身の情報を研究に利用してほしくない場合は，下記⑩の連絡先までお申し出ください。お申し出いただいても，診療上の不利益は一切ありません。 すでにお亡くなりになった患者さんについては，ご遺族の方からのお申し出も受け付けます。	
④研究の目的・意義	骨転移の原因となるがん（原発巣）を正しく見つけることは，適切な治療を選ぶために重要です。複数のがんの経験がある患者さんでは，骨転移がどのがんによるものか判断が難しいことがあります。本研究により，診察や画像検査から推定した原発巣と，組織の検査で確定した原発巣との一致の程度などを明らかにし，今後の骨転移の診断・治療の改善に役立てることを目的としています。
⑤研究期間	実施許可日から 2030 年 3 月 31 日まで（本文書は研究期間中，当院ホームページに掲載します。）
⑥情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	当院の診療記録から⑦の情報を取り出し，氏名・生年月日などを除き，研究用の番号と診療録番号（患者 ID）を付けて整理します。そのデータを集計・解析し，骨転移の原発巣の推定と組織診断との一致の程度，原発巣が確定するまでの期間，生存期間などを調べます。情報は当院内でのみ利用し，他の機関へ提供することはありません。結果は学会や学術雑誌で発表しますが，個人が特定される情報は含みません（一部の症例については，個人が特定されないよう配慮したうえで，診療経過の詳細を発表することがあります）。
⑦利用または提供する情報の項目	診療記録から，以下の情報を利用します：年齢，性別，これまでのがんの種類と診断時期，骨転移の診断時期，症状・画像検査の所見，推定された原発巣，生検（組織の検査)の有無と病理診断の結果，骨以外への転移の有無，日常生活の状態(PS)，生存または死亡の状況と最終確認日。
⑧研究組織および利用する者の共同研究機関	新潟県立がんセンター新潟病院および以下の共同研究機関等で利用いたします。 新潟県立がんセンター新潟病院　骨軟部腫瘍・整形外科　村山 雄大 共同研究機関：なし
⑨試料・情報の管理について責任を有する者	新潟県立がんセンター新潟病院　骨軟部腫瘍・整形外科　医長　村山 雄大 共同研究機関：なし
⑩お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします. 所属：新潟県立がんセンター新潟病院　骨軟部腫瘍・整形外科 氏名：村山 雄大 〒951-8566　新潟県新潟市中央区川岸町 2 丁目 15 番地 3 TEL：025-266-5111

	E-mail：y-murayama@niigata-cc.jp
⑪研究代表者	施設名：新潟県立がんセンター新潟病院　骨軟部腫瘍・整形外科 氏名　：村山 雄大 連絡先：025-266-5111